

坂 晴紀 (NPO法人「エンカレッジ」理事長)



今年の初め、知人から大変興味深い話を聞いた。75対25の法則というものである。例えば意識が高く頑張っている人が75%、そうでない人が25%の場合、25%は75%に取り込まれて全体的に意識が高くなるが、意識の高い人が70%で低い人が30%を超えると逆に70%が30%に取り込まれて全体の意識が低くなってしまおうというのだ。

エンカレッジでは、子どもたちへの学習支援を行っている。生徒は勉強を頑張っているが、教える側としては、勉強が苦手な生徒はもう少し意欲的になり意識が向上してほしい、また学力の高い生徒たちにはリーダーシップを発揮してほしいと欲が出てくる。そういった思いがあり、今年の4月から75対25の法則にならない、思い切って8人对2人で学力の高い子と勉強が苦手な子を同じクラスにしたが、良い結果はすぐに出た。

勉強が苦手で塾も休みがちなK君が変わったのだ。彼は先生が面談をしたり何度か声掛けしてもなかなか変わらなかったが、このクラス編成になると、クラスの意識の高い子が電話をして塾に一緒に行こうと声掛けしたり勉強を教えたりした。それを

## 未来へ いっしょ

受けてK君は休まずに来るようになったのだ。引っ込み思案だったK君が意欲的に学習にも取り組むようになり、その変化にはクラスメートの生徒も先生も驚き、また喜んだ。

学力の高い子どもたちはリーダーシップを発揮し、諦めがちな子の意欲を引き上げ、勉強が苦手な子は他の子に迷惑を掛けたくないという気持ちで学習意欲に変わっていった。どのクラスも雰囲気やチームワークが良くなり全体の意識は高くなり学力の面でも少しずつ成果が出てきている。

## 成長の仕組み

今回、子どもたちが学習の中から新しいことを学び成長した。そんな姿を見てこの子たちを信じて行動したことに安堵と喜びを感じるのである。